

令和元年度決算概要

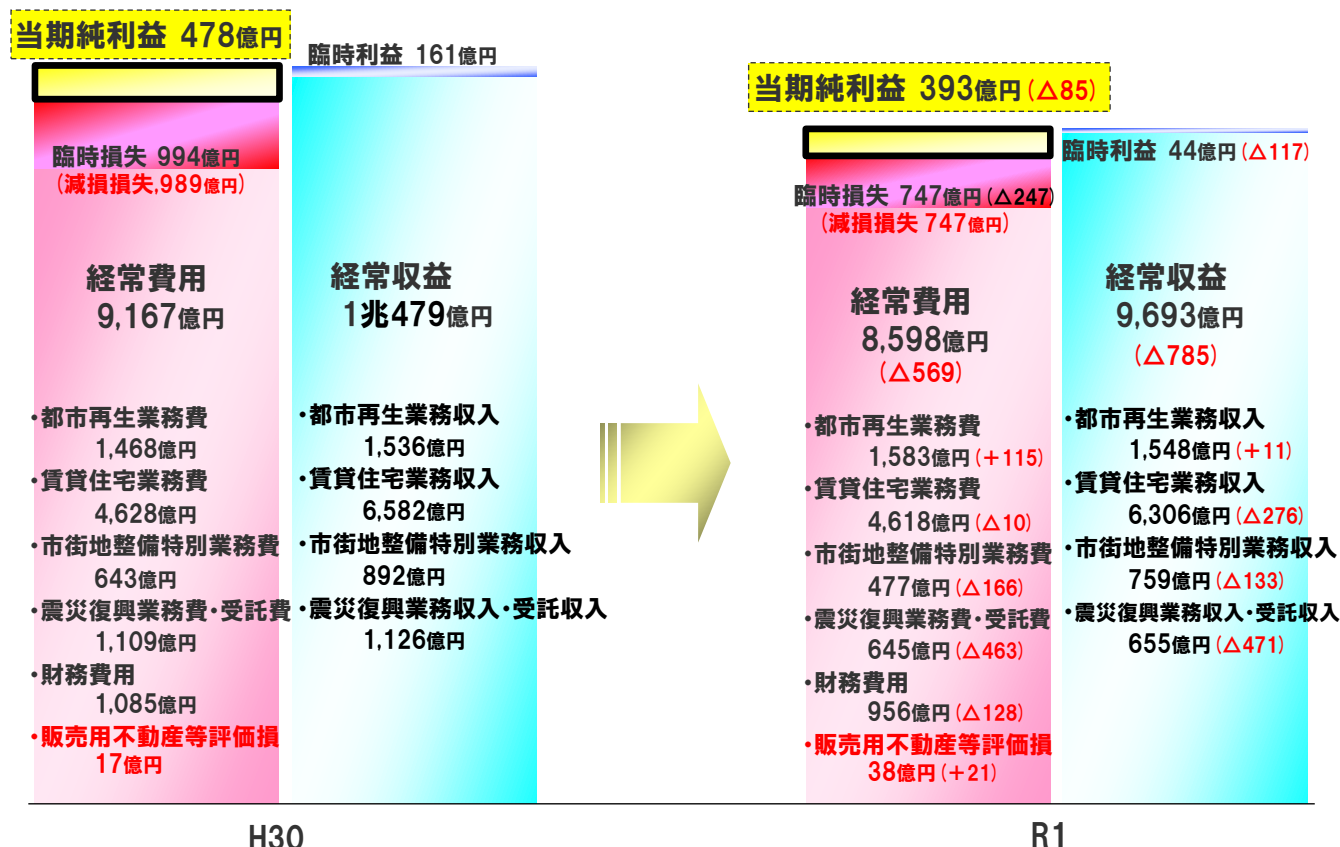
—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

(1) 法人全体

令和元年度は、経常収益を9,693億円(対前年度△785億円)、経常利益を1,095億円(対前年度△215億円)計上。臨時損失を747億円計上した結果、**393億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(2) セグメント別

法人単位
478億円

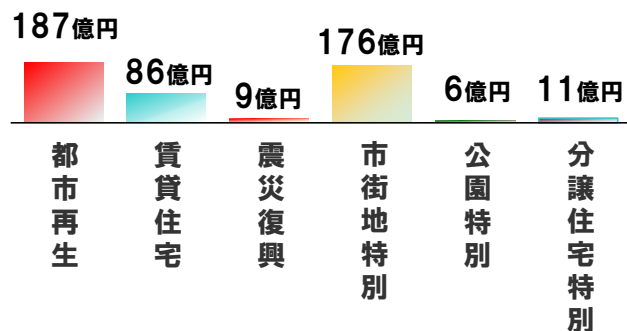
都市再生勘定
283億円

宅地造成等経過勘定
194億円

法人単位
393億円 (△85)

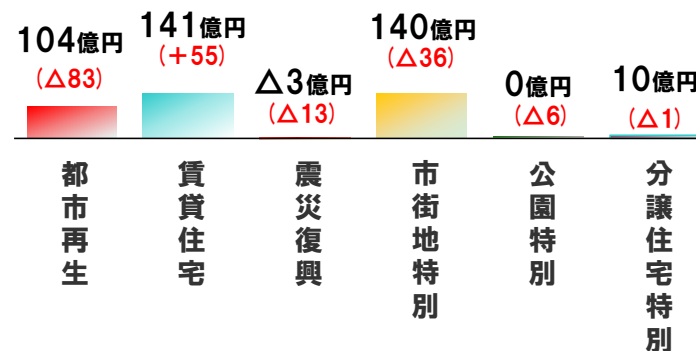
都市再生勘定
242億円 (△41)

宅地造成等経過勘定
150億円 (△44)



H30

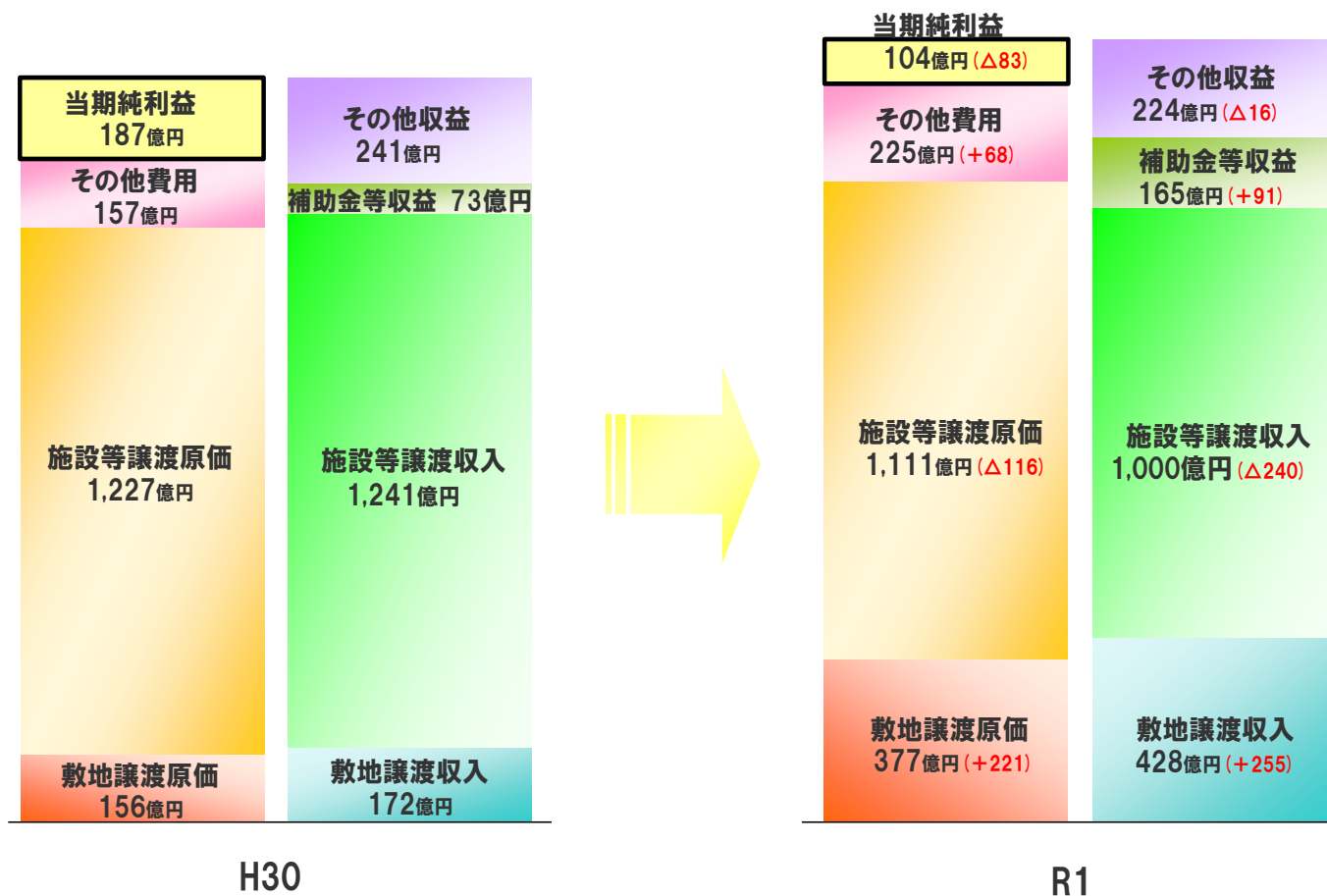
(※) 単位未満切捨て



R1

(3) 都市再生

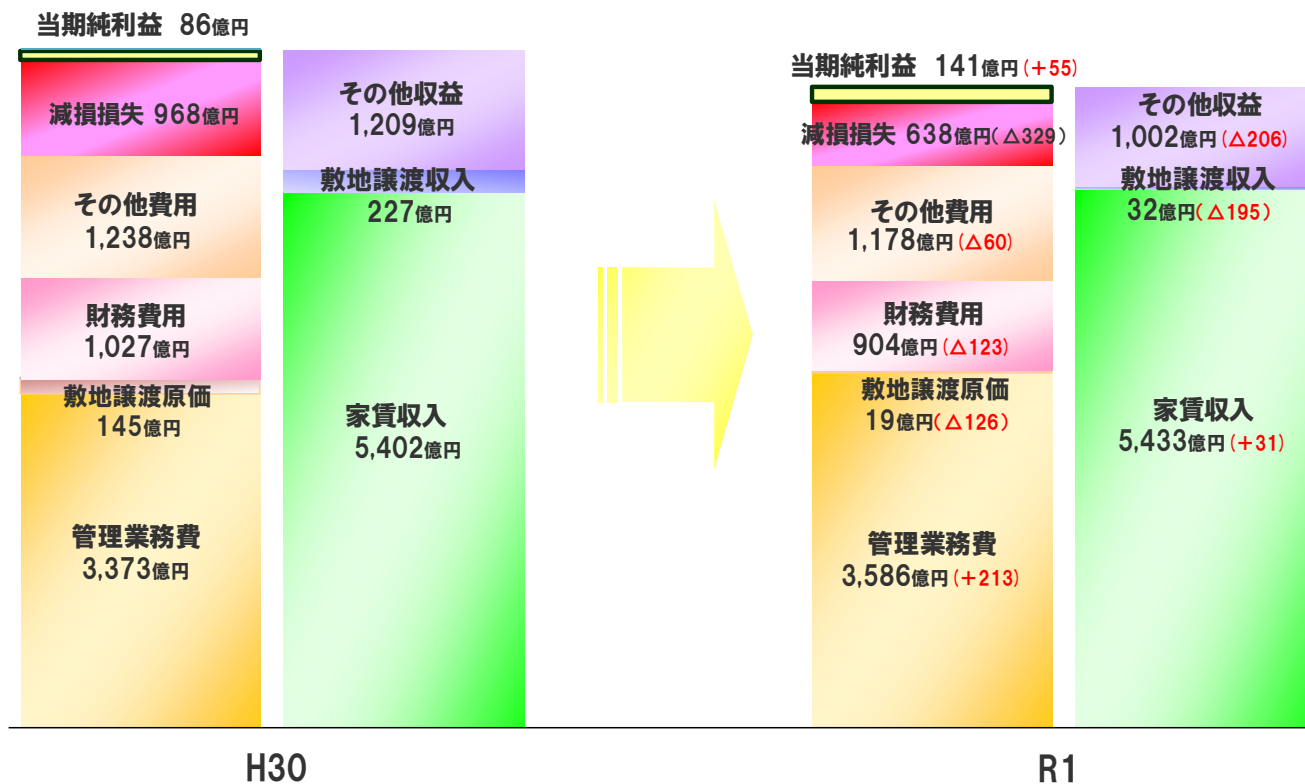
都市再生セグメントは、施設等譲渡収入を1,000億円計上。大型譲渡物件の引渡を着実に進めたこと等により、**104億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(4) 賃貸住宅

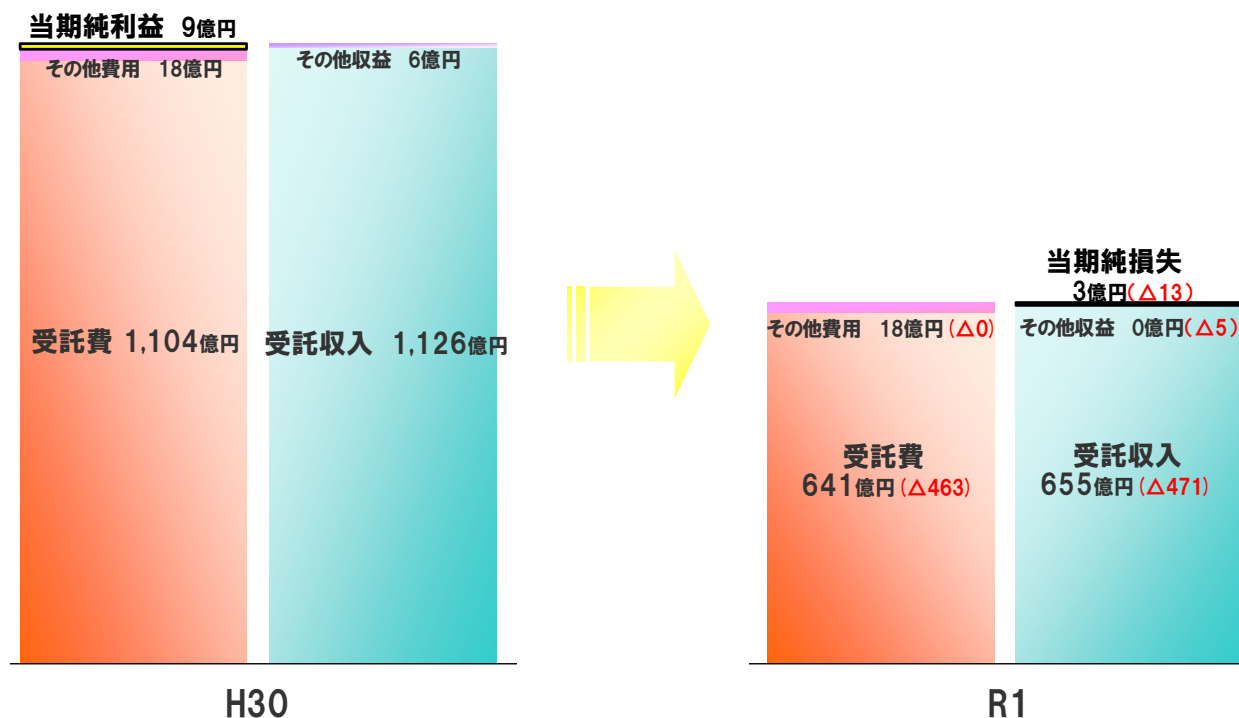
賃貸住宅セグメントは、投資等によるストックの良質化を進めつつ、営業活動の強化を図り収益の確保に努めたことにより、家賃収入を5,433億円計上した結果、**141億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(5) 震災復興

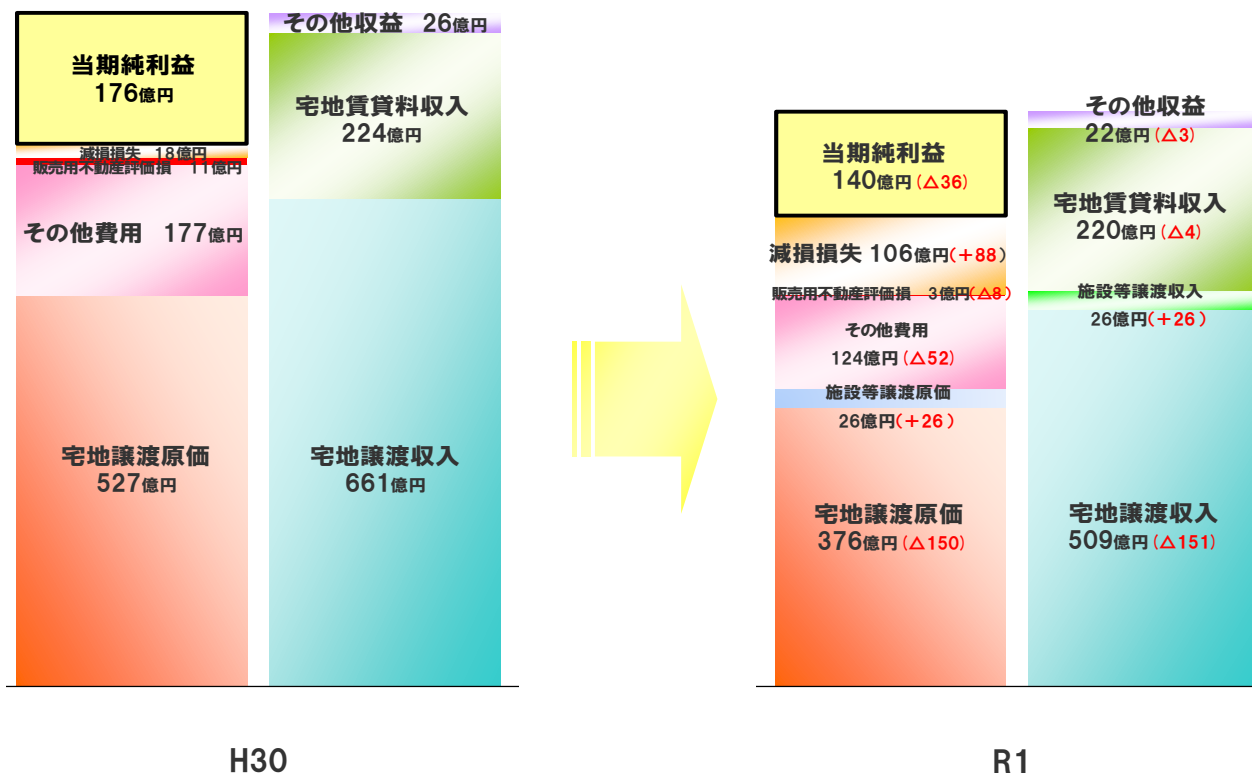
震災復興セグメントは、災害公営住宅の引渡を概ね完了。復興市街地整備の進捗により、受託収入を655億円計上したものの、**3億円の当期純損失**を計上。



(※)単位未満切捨て

(6)市街地特別

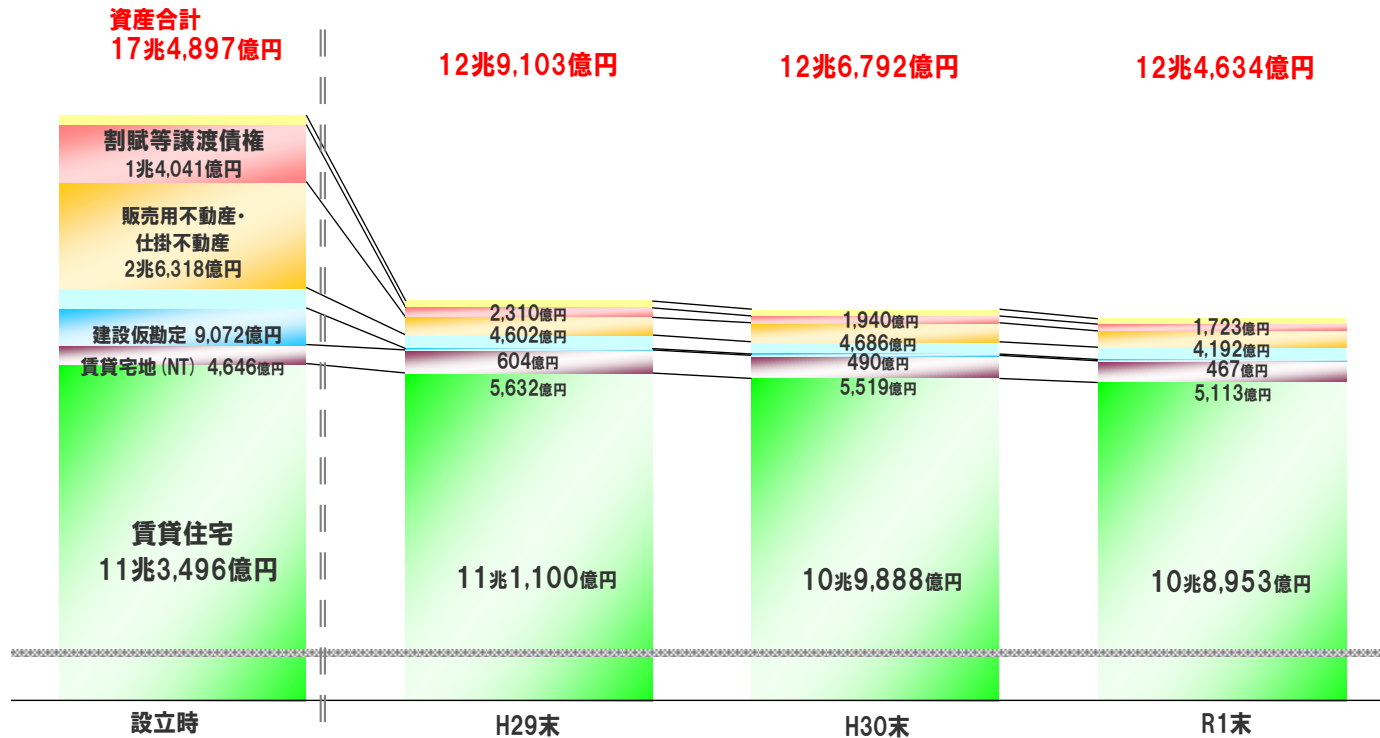
市街地特別セグメントは、賃貸宅地資産の圧縮に努めたことにより、宅地譲渡収入を509億円計上した結果、**140億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

(1) 資産の状況

総資産は、保有資産の譲渡等により、前年度末に比べ約2,100億円減少し、**約12.4兆円**。

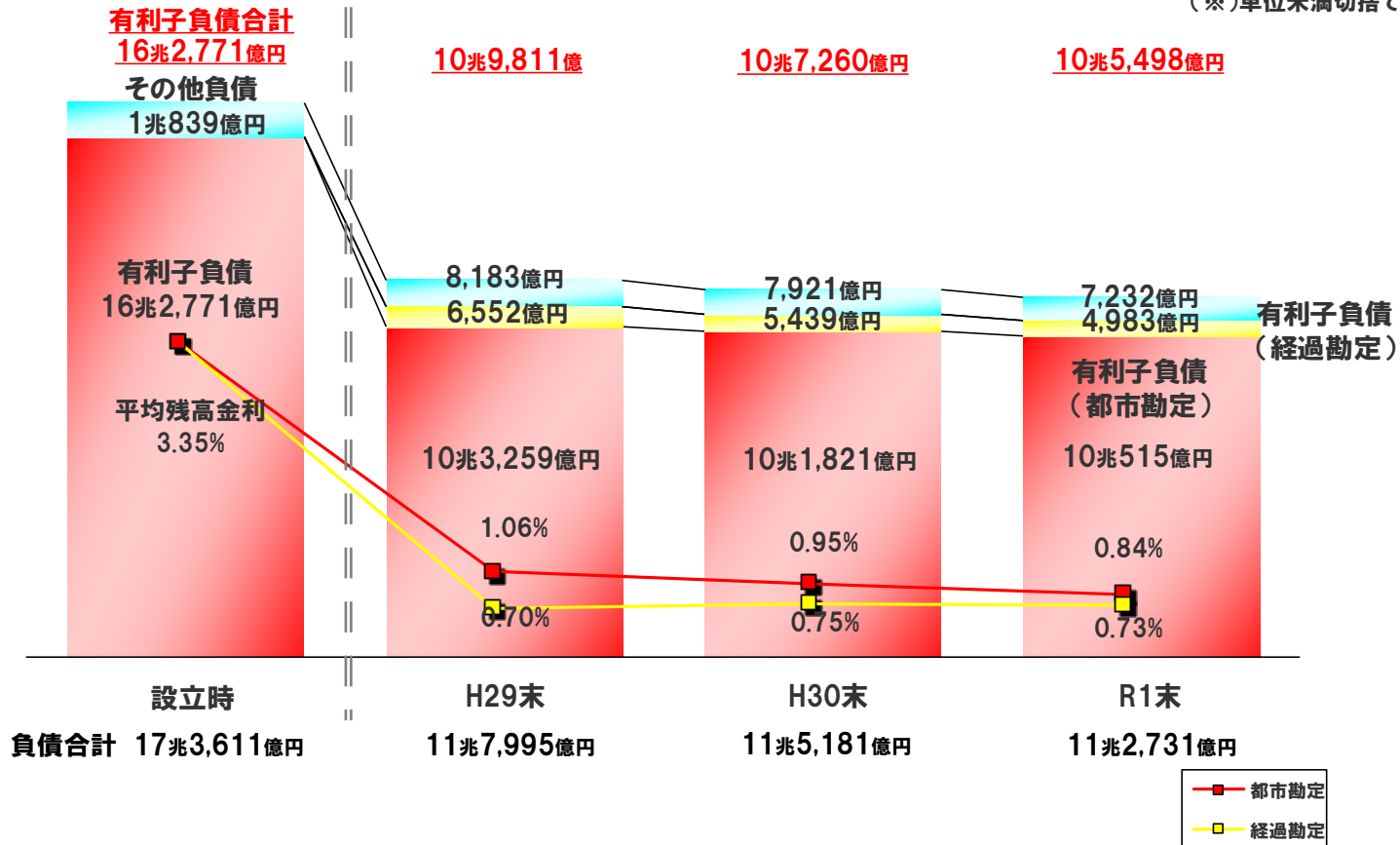


(※)単位未満切捨て

(2)負債の状況

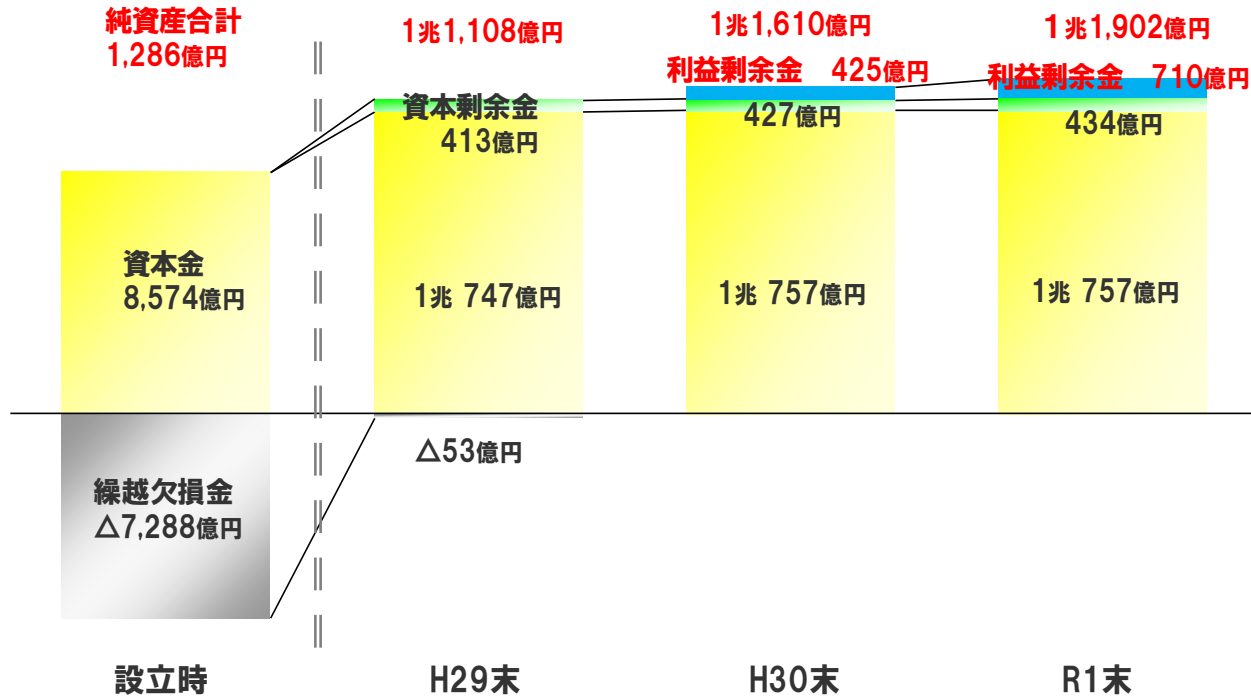
有利子負債は、当年度においても着実に削減を進め、前年度末に比べ約1,700億円減少し、**約10.5兆円**。

(※)単位未満切捨て



(3) 純資産の状況

平成30年度に繰越欠損金を解消。当年度も当期純利益を393億円計上した結果、利益剰余金を**710億円**計上。

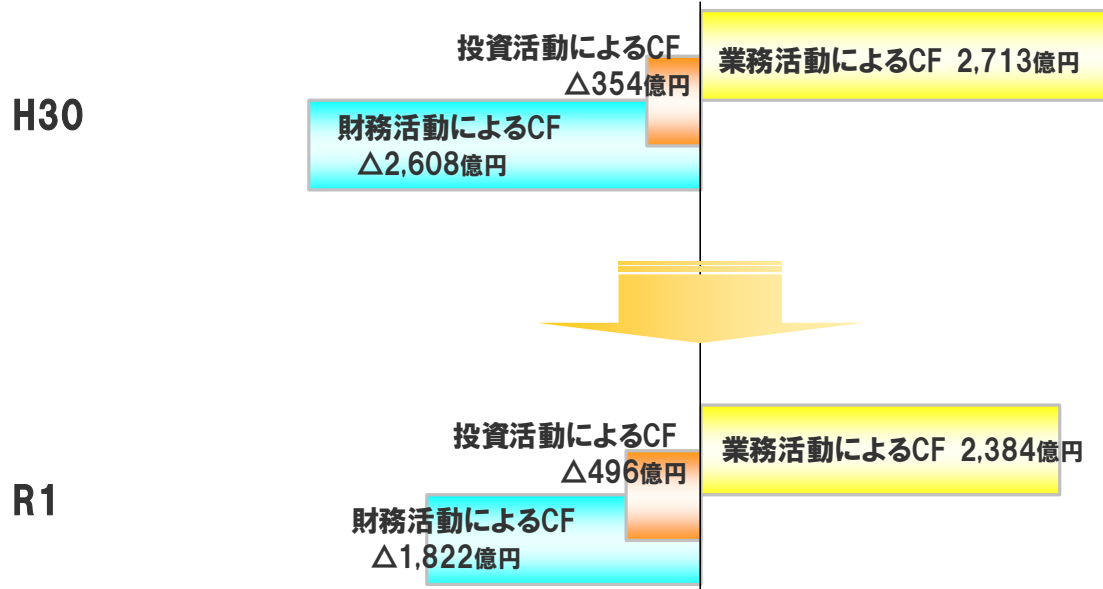


(※)単位未満切捨て

なお、令和元年度に、利益剰余金を原資として約107億円を国庫等に納付している。

(4) キャッシュ・フローの状況

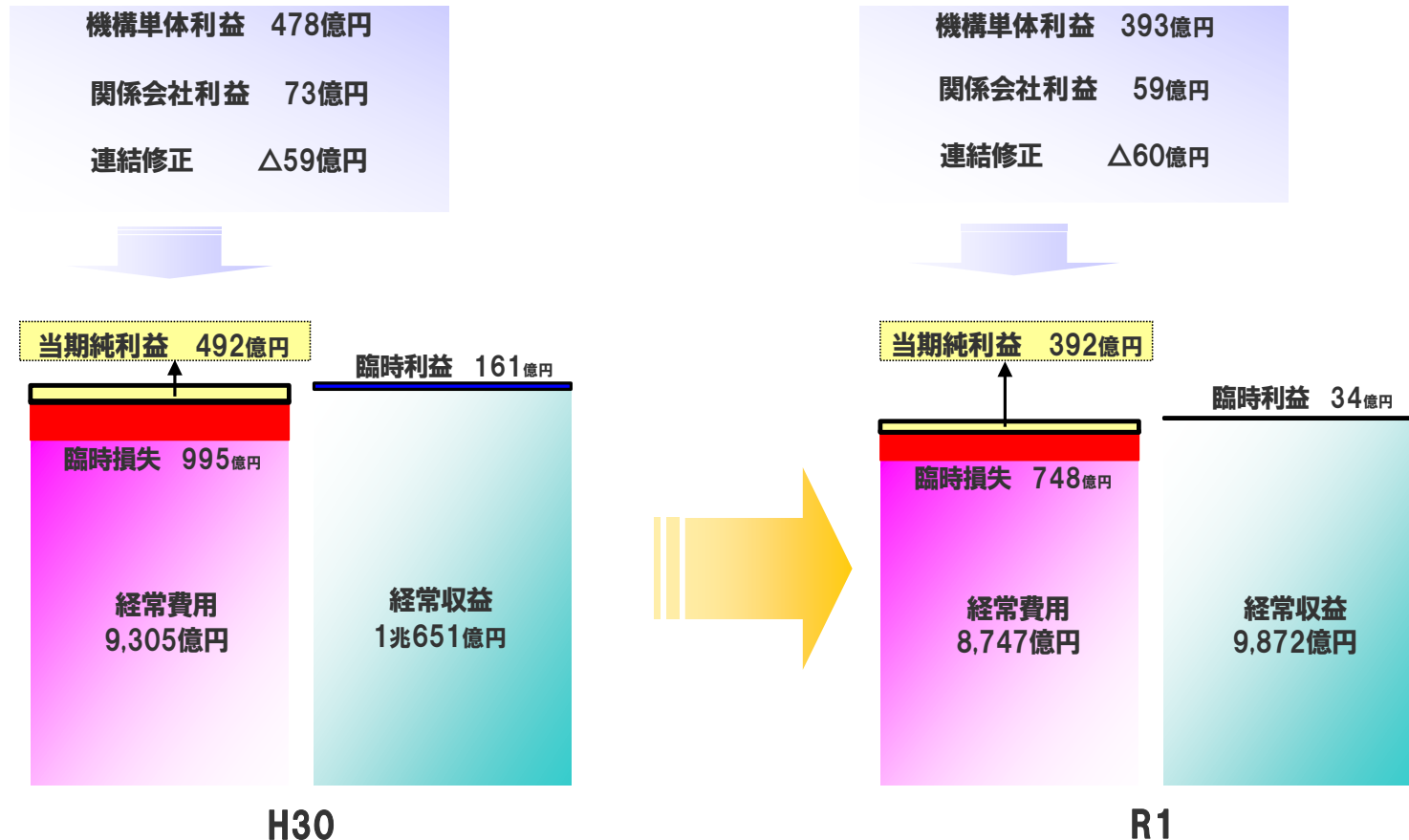
業務活動によるキャッシュ・フローは、家賃収入や敷地譲渡収入等を確保した結果、約2,300億円を計上し、有利子負債の削減に寄与。



(※)単位未満切捨て

3 連結財務諸表(損益)

特定関連会社(3社)及び関連会社(10社)の計13社について、全部又は持分法連結を行った結果、**連結当期純利益は392億円**。



(※)単位未満切捨て